

## 団塊世代の地域デビュー支援講座を追いかけて

団塊世代の、特に男性は、これまで仕事に大半の時間を費やし、人間関係も仕事上のつながりが中心だった人が多いのではないのでしょうか。定年を機に、そうした男性たちの多くは新たな居場所探しを迫られるのかもしれない。しかし、地域で何らかの活動をはじめるのは簡単なことではないようです。

団塊世代の地域デビュー支援講座では、団塊世代の主に当事者である男性や女性が企画・運営委員として会議を重ねました。

そして、自分たちが聞きたいこと、知りたいことに重点をおいた連続講座を実施しました。会社時間の終わりは、いざれ訪れます。定年などまだ先と思っっている方々にもその備えを考えてほしいと、講座の一端を報告します。

### ◆フォーキングコンサートの日

まずは団塊世代の主に男性が多く来場してくれることを期待して、同世代のフォーキングコンサート、中川五郎さんを迎えてコンサートを開催。12月の寒い夜だったにもかかわらず、大勢の皆さんが来場され、参加者の約半数は男性でした。中川さんの曲はリズム感が心地よく、楽しいひとときでした。メッセージ性が高い曲、とりわけ団塊世代に多い専業主婦が自分の

人生を振り返り「ほんとに、これでよかったのかしら？」と問う曲には、心揺さぶられるものがありました。男性はどのように感じられたのでしょうか。

### ◆男が作る家庭料理 2回シリーズ

料理に真剣に取り組む男性たちの姿が、とても印象的でした。悪戦苦闘しながらも協力し合い、初めはぎこちなかったものの、食事を一緒にする頃には、話も弾んでいたようです。2回目には、グループごとに材料を買いに行き、笑い声も出て、さらに親近感が深まったようでした。

講師の矢澤洋子さんからは「髪の毛の一本まで、毎日食べているものによって作られている。だからこそ一人ひとりが“食”について学ぶことが大切」との話がありました。

“食べることは生きること”です。性にかかわらず、料理を作ること、食べることの大切さを再認識しました。

### ◆上野千鶴子さん講演会

#### 地域デビューの心得！

— やっていいこと・困ること —

講師は『おひとりさまの老後』『男おひとりさま道』などの老後の生き方について示唆している本も書かれている、女

性学、ジェンダー研究のバイオニアです。今回の講演会では、主に、地域活動の初心者である男性に向けて話されました。

講師によると、会社での時間は定年退職で、また、家族との時間も子どもの巣立ちや配偶者との死別・離別などで必ず終わりがきます。残るのは自分時間です。

自分時間は孤独な時間ではなく、自分が自分でいられる時間、空間、仲間がいる充実した時間です。その意味でこれからは、血縁、地域との縁、会社での縁だけではなく、選択縁が大切とのこと。

選択縁とは、自分が選んで作る縁（えにし）で、強制力はなく出入り自由、結ぶのもほぐすのも自由です。講師は選択縁の社会は女性たちが先行しているとして、それを「女縁」と名づけ研究されています。

女性たちのネットワークは、親族ネットワークに代わり、互いに助け合う機能を持っています。一方男性たちは、地域活動でも会社組織を再生産する傾向があるとのこと。確かに、地域に出て行っても役割にこだわり、支配したがる男性は多いようです。地域では「役に立つ」より「愛される、かわいげがある」ことが大切との言葉には納得しました。

「いずれは、だれもおひとりさま」です。最後まで自分のそばにいて、困ったときに「困った、助けて」と言える縁で結ばれた仲間を持っているのは女性。男性は自分の弱さを出さないで「助

けて」と言いにくいのです。男性も、地域に一歩踏み出して「困った、助けて」と言える仲間ができたらいいですね。

### ◆われかくして

#### 地域デビューを果たしたり

3名の男性たちから、地域デビューのきっかけやいきさつなどの話がありました（3頁参照）。3名ともきっかけは妻の後押しとのこと。時間がかかり、決してスムーズとは言えないスタートだったものの経験談に、真剣に耳を傾けている男性の姿が多くみられました。いきいきと話をされる3人の姿に、勇気をもらった人もいたかもしれません。

男女共同参画センターでは、男女がともに地域で活動することを通して、多様な生き方を尊重し、すべての人がさまざまな場で活躍できる、男女共同参画社会の実現をめざしています。

あなたが地域で充実した日々を送るためのヒントは、見つかりましたか？

（安達）

### 地域活動のヒント満載！

市内で活動する119の文芸、健康、スポーツ、ボランティア、福祉、アート、文化など分野別の紹介を詳しくお読みください。

詳しいことは  
清瀬市民活動センターへ  
☎042-491-9027

